

空自基地の米軍化反対

沖縄・西日本ネット 福岡で1300人集会



「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク（沖西ネット）」は20日、福岡県行橋市で「平和といのちをみつめる福岡大集会」を開いた。沖縄・九州を中心に1300人（主催者発表）が参加し、玉城デニー知事も「集会の開催は、人々の

「平和といのちをみつめる福岡大集会」には、雨が降る中、主催者発表で1300人が参加した。20日、福岡県行橋市の新田原グラウンド（主催者提供）

平和への関心を喚起する非常に意義深いものだ」とメッセージを寄せた。

集会は「福岡県総がかり実行委員会」などと共催し、米軍基地化が進む航空自衛隊築城基地に近い新田原グラウンドで行われた。

沖縄からは、「ノーモア沖縄戦命どう宝の会」や、宮古島、石垣島、与那国島の住民がメッセージを寄せた。

1月に築城基地を訪れた。

たというノーモア沖縄戦の三上智恵さんは「このままではまずいよと教え合い、基地の強靱化（きょうじんか）に声を上げる地域とつながって、必ず次の戦争を止めていきましょう」とメッセージで呼びかけた。

築城基地の米軍使用は、米軍普天間飛行場返還に向けて日米両政府が合意した条件の一つ。集会に参加したノーモア沖縄戦の新垣邦雄事務局長は「政府が『沖縄の負担軽減』を口実に使って、各地の自衛隊基地を米軍共用施設に変えている。沖縄の基地負担軽減が進まないのにおかしなことになっている」と語った。

（南彰）